

平成 28 年 6 月 23 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

## 鹿児島県隼人町におけるメガソーラー事業向けプロジェクトファイナンスの組成について

当行は、スペインの太陽光発電事業者である X-Elio Energy S.L.(以下、「エクセリオ」)がスポンサーとなって出資する X-Elio10 合同会社が鹿児島県霧島市隼人町に建設する、発電容量約 16.7 メガワットの大規模太陽光発電所(以下、「メガソーラー」)に対するプロジェクトファイナンスを組成し、係る融資関連契約を平成 28 年 6 月 22 日に締結いたしました。このプロジェクトファイナンスは当行がアレンジし、建設などにかかる費用のうち総額約 64 億円を融資するものです。

エクセリオの前身は、スペインの再生可能エネルギー開発会社、Gestamp Renewable の主力子会社である Gestamp Asetym Solar S.L. でしたが、2016 年 2 月に投資会社、Kohlberg Kravis Roberts & Co. L.P.が株式の 80% を取得し、現在の社名に変更しています。9 か国で 12 か所のメガソーラーの開発実績を持ち、日本では 3 件目の事業となります。本事業では、エクセリオの日本法人である X-Elio Japan 株式会社(以下、「エクセリオ・ジャパン」)が事業開発の主体となり、鹿児島県隼人町の約 43 ヘクタールの用地を開発してメガソーラーを建設し、平成 30 年 1 月からの運転開始を目指します。

当行では、再生可能エネルギー事業を含むプロジェクトファイナンスを第三次中期経営計画における成長分野の一つと定め、当行の持つ高度なリスク分析力やストラクチャリング能力などの専門性を活かし、国内外での広範な案件組成を目指しております。国内の再生可能エネルギー事業については、近時は外資系事業者がスポンサーとなる優良なメガソーラーに対しても積極的にプロジェクトファイナンス組成を行っております。当行は今後も幅広い事業者のファイナンスニーズにお応えすることで、日本の再生可能エネルギーの安定的な成長を支援してまいります。

### 【プロジェクトの概要】

事業名称: 鹿児島県霧島市隼人町メガソーラー事業  
発電所名: メガソーラーパーク霧島隼人発電所  
発電容量: 約 16.7 メガワット  
事業主体: X-Elio10 合同会社  
スポンサー: X-Elio Energy S.L.(エクセリオ)  
事業開発主体: X-Elio Japan 株式会社(エクセリオ・ジャパン)  
商業運転開始: 平成 30 年 1 月の予定

※本格稼働後、発電する電力は、平成 24 年 7 月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力供給契約により、20 年間にわたって全量を固定価格にて九州電力株式会社に売電。

### 【X-Elio Japan 株式会社の概要】

名称: X-Elio Japan 株式会社(エクセリオ・ジャパン)  
(旧社名: Gestamp Asetym Solar Japan 株式会社)  
代表者: 代表取締役 安岡克己  
事業: 太陽光発電事業の開発  
設立: 平成 24 年 8 月 22 日  
所在地: 東京都中央区銀座 4 丁目 14-11

### 【X-ELIO Energy S.L.の概要】

名称: X-Elio Energy S.L.(エクセリオ)  
代表者: CEO Jorge Barredo  
所在地: Calle Ombú 3, 2nd floor, 28045 Madrid, Spain

**【融資概要】**

借		入	人：	X-Elio10 合同会社
契	約	金	額：	総額 約 64 億円
契	約	締	日：	平成 28 年 6 月 22 日
貸		付	人：	株式会社新生銀行、三菱 UFJ リース株式会社

以 上